【令和五年度　授業改善推進プラン】

板橋区立西台中学校

【国語】

■生徒の状況	・授業では、概ね興味関心も高く、課題に意欲的に取り組んでいる。授業での学習内容を理解することは概ねできている。 ・学んだ「知識」の定着と、読むことにおける「考えの形成、共有」の部分には課題がある。
■指導する上での課題	・学習内容が定着するように、繰り返し学習の機会を設ける必要がある。 ・「自分の考え」をもちながら文章を読む活動を充実させる。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・繰り返し反復学習をさせるために、一人一台端末を活用しながら学習に取り組む機会を増やす。 ・文章を掘り下げて読ませ、考え深められるよう発問を工夫する。一人一台端末などを活用しながら、考えを共有させる場面を増やす。さまざまな考えから気づきが生まれるようにする。

【社会】

■生徒の状況	・学習内容は理解できている生徒は多いが、学習した内容から自ら課題を見いだし、課題解決に向けて論理的に考えることができている生徒は少ない。
■指導する上での課題	・課題解決のための手法が分からない生徒が多いため、段階を踏んで問題解決能力を高めていけるような指導が必要である。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・「課題設定→教科書などを用いた情報収集→分析・考察→課題解決→新たな課題設定」の学習の流れを定着させる。

【数学】

■生徒の状況	・授業では課題に意欲的に取り組み、学習内容を理解できている生徒が多い。
■指導する上での課題	・授業中理解できた内容を定着させる。 ・文章から必要な情報を読み取り、式をつくって問題解決することができる。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・授業中に計算練習の時間を取り、基礎学力の定着を図る。また、ワークやドリルの提出や小テストなどを実施し、家庭学習の習慣を身につける。 ・問題文、教科書を精読する習慣をつけさせ、読解力を向上させる。

【理科】

■生徒の状況	・授業課題に意欲的に取り組む生徒が多い。 ・授業中に学習内容の理解はできているが、学んだことが定着していない。
■指導する上での課題	・観察・実験結果から論理的に考察する力をつける。 ・教科書やワークシートの文章を読み取り、内容を正しく理解して、課題に取り組む力を身につけさせる。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・実験では、班で協力し、正しく結果・考察をまとめる習慣を身につける。 ・教科書やワークシートを読む習慣を身につけさせ、読解力を向上させる。

【音楽】

■生徒の状況	・多くの生徒が主体的・意欲的に学習に取り組んでいる。 ・少人数のグループ活動には興味をもって取り組んでいる。
■指導する上での課題	・創意工夫して表現する力を身につける。 ・到達目標を理解して主体的に課題に取り組む力をつける。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・合唱活動では、スペースのとれる場所でパート練習を行うなど、授業の方法を工夫していく。 ・多様な音楽を取り上げて、音楽を形作っている要素や構造と曲想との関わりを感じ取る活動を行う。 ・曲の特徴をつかむことができるよう、その背景となる風土や文化、歴史等と関連付けた指導を行う。

【美術】

■生徒の状況	・毎回の到達目標から授業の課題を意識し、集中して授業に取り組むことができている。
■指導する上での課題	・心豊かに表現する力を身につける。 ・到達目標を理解して主体的に課題に取り組む力をつける。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・作業工程の説明や鑑賞活動において、ＩＣＴを活用することで生徒の理解を深め、知識・技能の向上を図る。 ・表現意図を文章化し、生徒同士で意見交換を行うことで、思考力・判断力・表現力の向上を図る。

【保健体育】

■生徒の状況	・自他の安全に留意し積極的に学習に取り組んでいる。 ・体を動かすことが好きな生徒とそうでない生徒の二極化の傾向がある。
■指導する上での課題	・運動に対して興味・関心・意欲をもつことができるようにする。
■授業革新推進に向けての具体的な方策	・学習のねらいが理解できるように到達目標を明確に掲示し、振り返りにより学習の定着を確認していく。 ・タブレットなどを使用し、課題解決に向けたアドバイスができるようなペア学習やグループ学習を行う。 ・運動技能の向上を目指す中で、身体を動かす楽しさを実感できるような授業を展開し、体力向上に役立てる。

【技術・家庭】

■生徒の状況	【技術】 ・説明をしっかりと聞き、理解して、安全に積極的に作業に取り組んでいる。 【家庭】 ・到達目標から興味･関心をもち、見通しをもって学習に取り組むことができている。
■指導する上での課題	【技術】 ・Chromebookを利用し、ＩＣＴ化を進めることで情報機器の活用能力を高める。 【家庭】 ・生活経験の差が大きいため、日常生活に目を向けたり、実生活に関連づけたりする能力を高める。
■授業革新推進に 向けての具体的な方策	【技術】 ・Chromebookを利用し、分かりやすい映像や画像を活用して学習の見通しをもたせていく。また、振り返りシートなど様々な場面で活用する。 ・工具・機械類の安全面を強化する。 【家庭】 ・身近な題材を多く取り入れ、生活の課題に気付きやすくする。 ・実習における作業行程の説明では、積極的にICTを活用することで生徒の理解を深める。

【外国語】

■生徒の状況	・到達目標を意識し、授業に取り組んでいる生徒が多い。 ・授業中理解できても、学んだことが定着していない生徒が多い。
■指導する上での課題	・学んだことを定着させるため、自分自身で学習（予習復習）できる力をつける。 ・反復学習と自己表現活動を充実させる。
■授業革新推進に 向けての具体的な方策	・授業最後や前時の振り返りを丁寧に行う。 ・既習事項を様々な場面で使用する。 ・ペア学習やグループ学習を適宜取り入れ、主体的な言語活動に結びつける。

【総合的な学習の時間】

■生徒の状況	・自らの課題に対して積極的に取り組んでいる。 ・自ら課題を見つけてSDGｓに関連させようとする姿勢が芽生えてきている。 ・自分の考えをまとめ、他者にその考えを伝えることには消極的な生徒が多い。
■指導する上での課題	・一人一人が自ら考え、主体的に課題を設定し、課題解決のために生徒同士が協力して活動する力をつける。 ・自らの考えをまとめ、分かりやすく他の生徒に伝える力を育てる。 ・情報を多角的に収集したり、選択したりする力をつける。
■授業革新推進に 向けての具体的な方策	・一人一人が自ら学んだことを発表する場を設定し、分かりやすく他の生徒に伝える力を養う。 ・自らの生き方に関わる職業調べ、進路学習などから、自分自身にとって密接な課題を取り上げることで、学習内容への興味・関心を高め、３年間を通して自ら学んでいく姿勢を養う。

【特別の教科道徳】

■生徒の状況	・様々な内容項目に対して、ワークシートを用いて自分の考えをまとめたり、他者と意見を共有したりしながらテーマに向き合って取り組んでいる。
■指導する上での課題	・自分の内面を改めて見つめ直し、自分の価値観や捉え方を掘り下げ、考えをより深めさせる機会となるよう、展開や発問を工夫すること。
■授業革新推進に 向けての具体的な方策	・意見共有の活動を通して多様な価値観に触れさせ、自分のものの見方や価値観を広げ、自分とは違う考え方も受容したり態度を育てる。